

BlueDVインターフェース装置の 使い方

2017年11月4日 (V1.1)

JR10FP

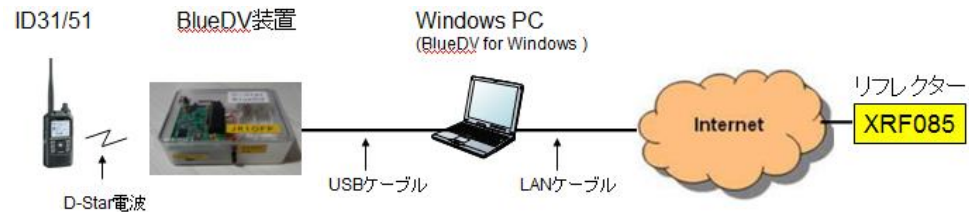
1. BlueDVインターフェース装置の使い方

<機能>

(1) Bluetoothを使ったBlueDV装置
(Android スマホ・タブレット使用)



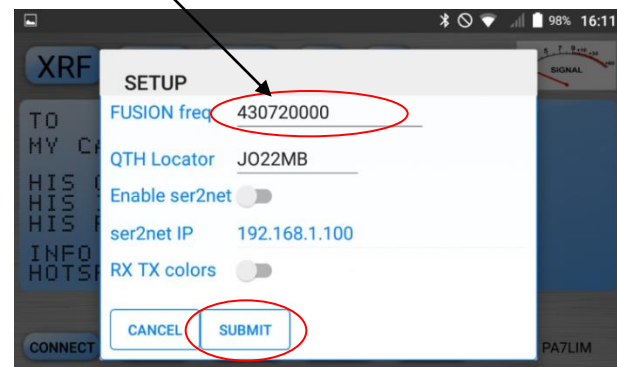
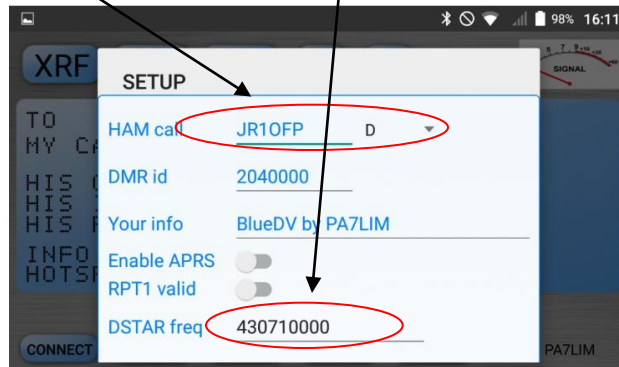
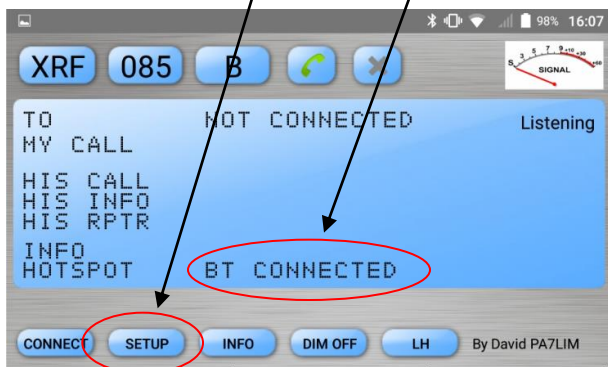
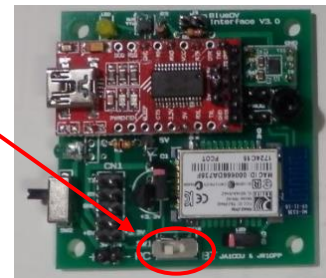
(2) PCと接続し、
BlueDV for Windows装置



(3) PCと接続し、DVMEGA Firmwareの書き換え

2. BlueDVの使い方 (Bluetooth接続) (1)

- (1) PC/BT切り替え SWを BT側 (Bluetooth接続) にする。
- (2) 単三電池2本を入れ、電源SWをONの位置にする。
又は、電源SWをOFFにし、USB電源を接続する。
- (3) スマホのBluetoothを有効にする。
- (4) BlueStackとペア設定する。パスワード“1234” --- (初回のみ)
- (5) スマホでBlueDVアプリをインストールする。(初回のみ)
- (6) BlueDVアプリを起動する。
- (7) “BT CONNECTED” 状態になっていることを確認する。
- (8) SETUPを押し、Call sign, DSTAR周波数、FUSION周波数を設定する。



(9) SUBMITを押す。

2. BlueDVの使い方 (Bluetooth接続) (2)

(10) 接続したいリフレクターとモジュールを選択し、電話機マークを押す。



(XRF085 Bと接続中)



(FUSION FCS001 21と接続中) 4

3. BlueDV for Windowsの使い方 (PC接続) (1)

- (1) PC/BT切り替えSWをPC側(PC接続)にする。
- (2) PCとBlueDV装置をUSBデータケーブルで接続する。
ドライバーソフトが必要な場合は、下記HPを参考にFTDI USBシリアル変換器のドライバーをインストールして下さい。 https://synapse.kyoto/tips/FTDI_driver/page001.html
- (3) 単三電池は不要です。電源SWはOFFの位置にする。
- (4) PCのデバイスマネージャーでBlueDV装置のCOM番号を調べる。
- (5) BlueDV for Windows プログラムをインストールし、起動する。
- (6) Menu => Setupで下記赤丸項目を設定し、Saveを押す。(初回のみ)



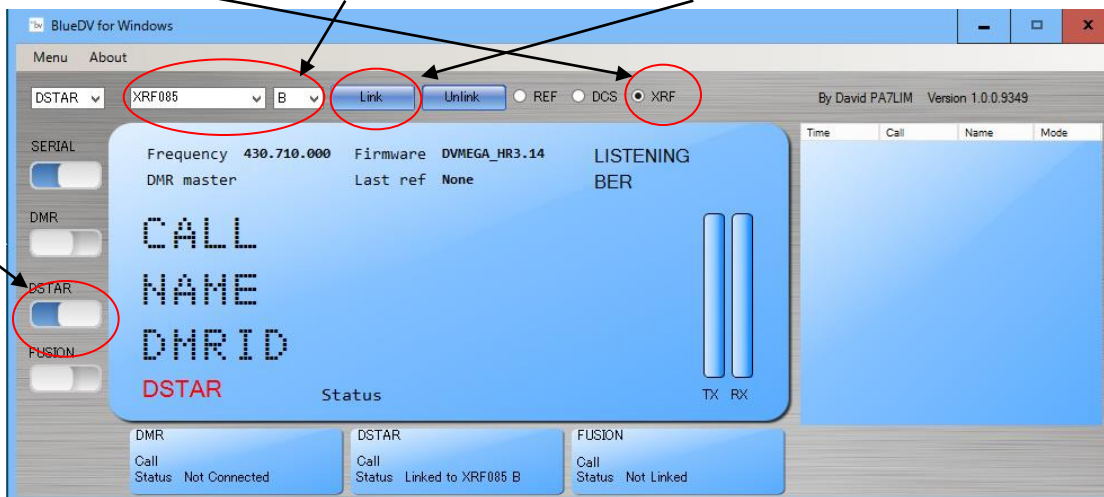
A screenshot of the BlueDV for Windows software interface. The 'Setup' window is open, showing various configuration options. Several fields are circled in red: 'Your Call' (set to 'JR10FF'), 'Serial Port' (set to 'COM7'), 'Frequency' (set to '430710000'), and 'DSTAR Module' (set to 'D'). The 'Default reflector' field is also highlighted with a red circle and a yellow callout box. The 'Save' button is visible at the bottom of the window.

ここに接続したいリフレクターを指定すると、プログラブ起動時自動的に指定したリフレクターに接続される。

3. BlueDV for Windowsの使い方 (PC接続) (2)

(7) DSTARリフレクターに接続する方法

DSTARを選択 => XRFを選択 => XRF085 Bを選択 => Linkボタンを押す。



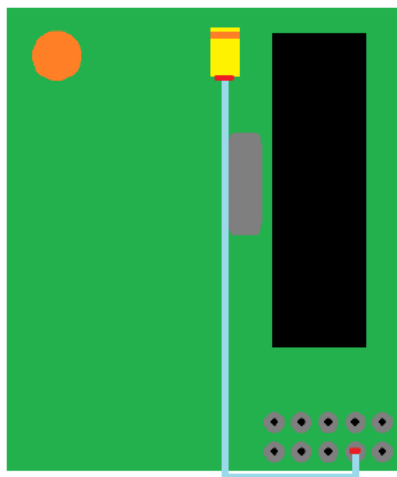
(8) FUSIONリフレクターに接続する方法

FUSIONを選択 => FCSを選択 => FCS001 21を選択 => Linkボタンを押す。

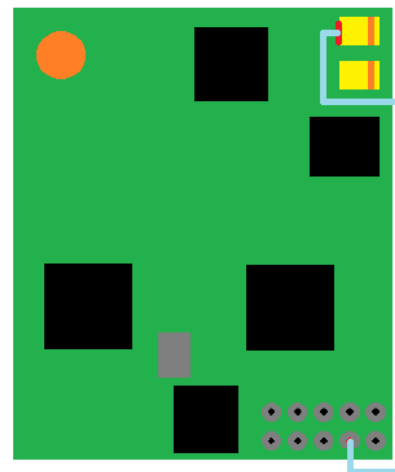


4. DVMEGA Firmwareの書き換え方法 (1)

- (1) PCとBlueDV装置をUSBケーブルを接続する。
(注意: 電源専用ケーブルだと使えない)
- (2) PC用ソフトウェア(X-Loader) --- DVMEGA HPよりDownloadする。
<http://www.dvmeqa.auria.nl/Downloads.html>
- (3) 日本仕様のDVMEGAファームウェアを同じHPからDownloadし解凍する。
(例) DVMEGA_RH_V314_JAPAN.cpp.hex
- (4) DVMEGA基板に下記ジャンパー線をハンダ付けする。
(2017.11以降にセットで頒布したDVMEGA基板には、ジャンパー線を取り付けました。)



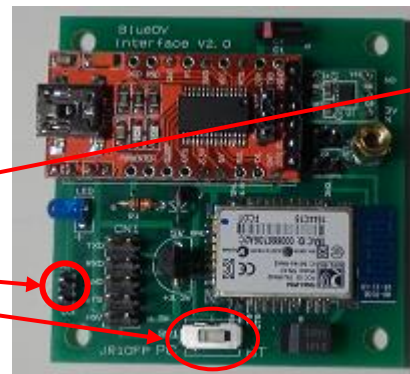
(Single Band DVMEGA)



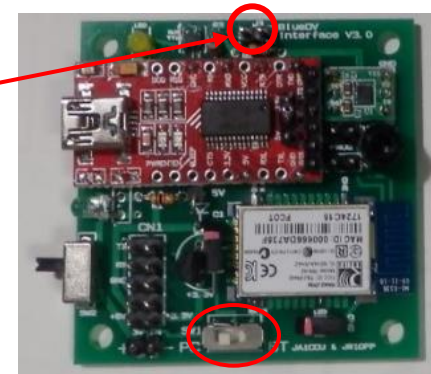
(Dual Band DVMEGA)

4. DVMEGA Firmwareの書き換え方法 (2)

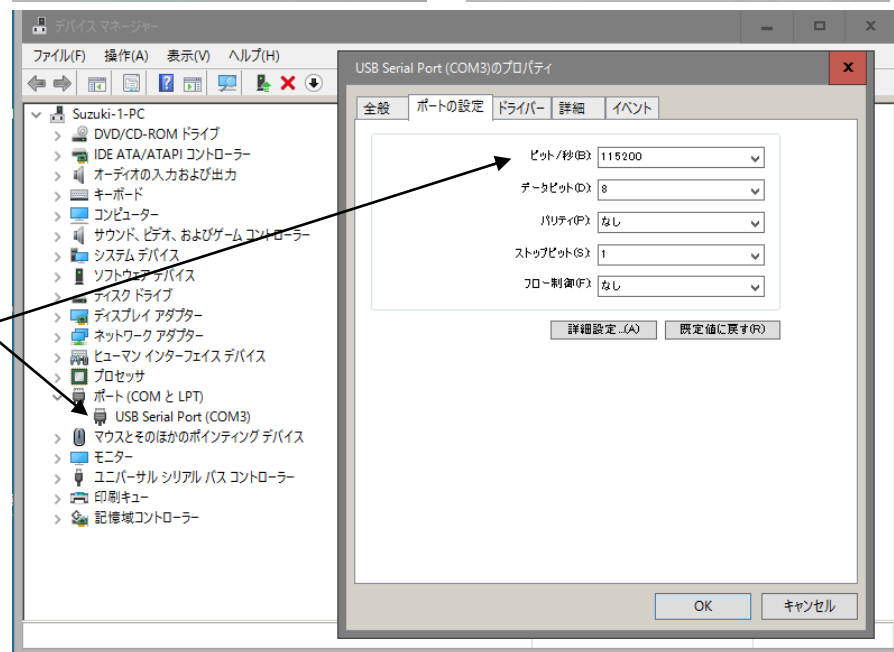
V2.0、V2.5基板の場合



V3.0、V3.1、V3.5基板の場合



1. J3にショートピンを挿す。
2. PC/Bluetooth切り替えSWをPC接続状態にする。
3. DVMEGA基板を搭載する。
4. PCとUSBケーブルで接続すると COMポート番号が割り当てられる。
5. デバイスマネージャでCOMポート番号を調べておく。
6. COMポートのスピードを 115200bpsに設定する。



4. DVMEGA Firmwareの書き換え方法 (3)

1. PCの何処かにDLした X-Loaderプログラムを解凍し保存する。
2. Xloader.exeをダブルクリックし、Xloaderを起動する。
3. 前項で調べたCOM番号を設定する。
4. 新しいファームウェアのhexファイルの場所を指定する。
5. Deviceは Uno(ATmega328)を選択する。
6. Uploadボタンを押す。
7. Uploadedになったら完了(約30秒で完了)
8. J3のショートピンを外す。

